

## 今後のことについて少し

茂呂 良彦

最後に何を書こうか考えた。私には、皆さんの役に立つような立派なことは書けないので、今後のことについて少し書いておくことにした。

2016年、自家用車に牽引用のフックを付けた。理由は、牽引するヤツを買ったからだ。いわゆるキャンピングトレーラーである。

ヨーロッパやアメリカでは、バカンスにトレーラーを牽いて旅をする方も多いらしい。退職後、数年かけて、日本各地を少しずつ回りたいと考えはいた。ただ、新車に必要なものを追加していくと、普通自動車1台分よりも高価になってしまう。また、キャンピングカーやキャンピングトレーラーは、それ専門のショップでのメンテナンスが欠かせない。普通の車屋さんに、これらに関するノウハウはない。

だが、新潟には競馬場のすぐ近くに専門店がある。ラッキーだ。こんな近くに専門店があるのに、利用しない手はない。

4年前、中古でかなり安く手に入れることができた。エンジンがないから、車検も税金も安い。10年落ちだが、劣化は少ない。サイズは、牽引免許が不要なものを選択した。購入したのは、こんなヤツだ。(神明神社から新発田城へ向かう道を通る機会のある方は、アレか!と思われるだろう。ソレです!)

ダイニングテーブルとソファ、ベッド、キッチン、トイレ、温水シャワーがあり、ソーラーユニットで発電している。LPガスも積んでいて、FFファンヒーターがついているので、冬でもヌクヌク。発動発電機も購入したので、夏はエアコンも動かせる。災害時には、シェルターとしても使える。旅先で、トレーラー部分を切り離せば、乗用車単体で移動することができる。

欠点もある。時速100km以上を出すと、スネイクキングと呼ばれる蛇行現象が起きて、危険である。高速料金も高い。どこでも寝られるのだから、速度も高速道路も関係ないと考えたことにした。

前進はたやすいが、バックはかなり難しい。牽引する車の後輪が、トレーラーの前輪になるように動かす、という概念を獲得する必要がある。

牽引するようになってから、大型トレーラーの運転手さんたちをリスペクトするようになった。

さて、4月からどこへ行こうか?



↑発動発電機    ↑コレです    ↓室内



今までありがとうございました。